

CV-22オスプレイの横田飛行場への正式配備に関するコメント

平成30年8月22日、防衛省北関東防衛局から「平成30年10月1日に5機のCV-22オスプレイを正式配備する。」という趣旨の文書による情報提供がありました。

オスプレイについては、国内においてもMV-22の不時着水事故をはじめ、緊急着陸や部品落下事故、また、横田飛行場に配備されるCV-22が奄美空港に緊急着陸するなど、様々な事故等が相次いで発生しており、オスプレイの安全性に対する市民の懸念は未だ払拭されておらず、国の責任において運用に関する具体的内容や安全性について、情報提供を行うようこれまでも埼玉県基地対策協議会を通じて、防衛省などに要望してきたところです。

また、私どもの市域は、横田飛行場の滑走路の延長線上にあたり、飛行航路下の市民は常に不安にさらされております。

私どもとしましては、安全保障の重要性は認識しており、併せて沖縄県の負担軽減を実現させていかなければならないことも承知しているところです。しかしながら、自治体の長として、市民生活の安全・安心を守るという立場から、近隣市とも連携し、防衛省などに対しては、市民の懸念が払拭されるよう十分な説明責任を果たすこと及びCV-22オスプレイの安全性に関する正確な情報提供を行うよう強く求めてまいります。

平成30年8月23日

飯能市長 大久保 勝

入間市長 田中 龍夫

日高市長 谷ヶ崎 照雄